



走姿顕心

ここ数年、我が家では1月2日、3日の箱根駅伝から新しい年が始まります。

優勝争いを期待されていても負けてしまうチームもあれば、まさかを実現するチームもあります。また、区間新記録の快走がある一方で、絶対的エースと言われながら、その実力を発揮できない選手もいます。走るメンバーにも、それを支えるメンバーたちにも見えないドラマがあり、ひた向きの心が映し出された走る姿には、見る人を感動させる力があります。



「走姿顕心（そうしけんしん）」。多くの駅伝部や野球部で使われているこの言葉には「走る姿にその人の心が顕れる」という意味があるそうです。

高校野球に詳しい人は「走塁を見ればチームが何を大事にしてきたかが分かる」と言います。現に昨年の夏の甲子園を制した仙台育英高校も、全力疾走とカバーリングはゲームを勝ち切る野球の本質として、グラウンドに「走姿顕心」の文字を掲げているそうです。

目標を達成するために意欲的に頑張っているのか、それとも受動的にやらされているのか。人に見られていようが見られていまいが、多くのことを我慢し挑む。その潔い心が映し出された姿や振舞いが、見る人を感動させるのは当然ではないでしょうか。

新年にあたり、多くの人が新しい気持ちで、勉強や運動など、目標を決めスタートします。小学生の子どもたちですから、授業態度、生活態度に完璧な姿を求めるわけではありません。でも、どうせ頑張るなら、みんなに応援されるように頑張りたいと思います。

では、どうすれば応援されるようになるのでしょうか。それは、目標に向かって懸命に努力することはもちろんですが、次のことも大切だと思います。

（1）ルールを守る

「ならぬことはならぬもの」。わがままや自分勝手は、友だちからの信用や信頼を失ってしまいます。

（2）周りの人に尽くす

人から応援されるには、まず自分が周りの人のために行動できなければいけません。

（3）感謝を述べる

「ありがとう」は心を表す言葉です。周りの人に感謝を述べるようになるといいですね。



「走姿顕心」には、「走る人の心が結果になって顕れる」という意味もあるそうです。子どもたちの「心」を込めた努力は、皆の応援を得て必ず結果を出すでしょう。私たちも、学級の実況や子どもの学ぶ姿の変容を楽しみにしながら、子どもに寄り添う「心」を込めた教育に努めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

学校経営の方針について（３）



＜学びの環境をととのえる＞

○ きれいな学校にします

以前、ある中学校を訪れたときに、美化委員会のポスターが掲示されていました。そこには大きく「古いと汚いは違う！」の標語が。なるほどと感心しました。

大洲小の校舎もだいぶ古いのですが、おかげさまで、教室や廊下は掃除が行き届き、地域ボランティアさんの協力もあり花壇なども手入れがされています。

ゴミが落ちていても気がつかない子は、人の心の痛みがわかるでしょうか。公共物を乱暴に扱う子は、友だちに優しく接することができるでしょうか。掃除の様子を見れば、学校が荒れているかどうか、子どもが落ち着いて生活しているかが分かります。

ありがたいことに、本校の子どもたちは一生懸命に掃除に取り組んでいます。身の回りの整理整頓もできています。また、物もあまり壊れません。とても素晴らしいことだと思います。



○ ICT 教育をすすめます



今までの授業に、ＩＣＴ機器を活用することで、「個別最適な学び」や「協働的な学び」がより効果的なものになることが期待され、子どもたちの可能性を引き出すことができるようになると思います。

そこで、今までの授業方法をベースに、どの様な場面で、どのような機能をどのように使うと子どもたちの学びに効果があるのか、タブレットを活用した授業の研究・研修を重ねます。

○ 読書教育を進めます

子どもは読書を通じて、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高めるとともに、想像力を豊かにしていきます。また、読書活動は子どもの生涯にわたる学習活動の基礎になるとされ、「万学の基礎」と言われています。

読書をあまりしない中学生や高校生の多くは、幼児期や小学生の時期に読み聞かせや読書の経験が少ないとの調査結果もあります。そのことから、小学校時代に読書に勤しむことはとても大切なことです。生涯の財産になるよう、多くの「良書」に触れさせたいと思います。

図書委員会の活動や、図書ボランティアの協力をいただきながら、読書を楽しむことができる環境を整えたいと考えています。



保護者アンケート（前期）のご意見から

学習指導や生活指導、行事に関すること、施設・設備、ＰＴＡ活動等、多くの貴重なご意見や要望をいただきました。特に施設・設備についての要望が多くありました。

○体育館の天井から塗装や保護材が剥がれ、垂れ下がっている。修理してほしい。

→ 教育施設課に修繕の依頼をしました。やぐらを組む大掛かりな作業となるため、次年度、体育館の照明器具をLEDへ交換する作業の際に修繕をしていただけるそうです。作業する日時を早めるよう調整していただけるそうです。

○他の公立小学校のような、放課後子ども教室があると、親も子どもも嬉しいです。

→ 放課後子ども教室については、大洲小学校には空き教室がないため設置ができていたが、特別教室（視聴覚室）を活用し設置する予定です。改修工事は夏季休業中になるため、放課後子ども教室の開設は次年度の秋以降になる見通しです。